



信頼
される病院

ヘリポート

平成29年2月から運航開始となったドクターヘリのほか、防災ヘリの離着陸も受け入れています。

質の高い医療を提供する 認定病院

南予地域の拠点病院としての役割に加え、様々な施設基準を満たし多数の施設認定を受けています。

南予地域の救急医療の拠点として 南予救命救急センター

南予地域における救急医療の最後の砦として、重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供しています。宇和島医療圏以外にも、八幡浜・大洲医療圏や隣県の幡多医療圏の一部からも救急患者が搬送されるなど、当センターの医療圏は広域にわたっています。



質の高いがん医療の提供 地域がん診療 連携拠点病院



平成 20 年 2 月より地域がん診療連携拠点病院として認定を受けています。がん拠点病院としての責務は多岐にわたりますが、専門的ながん医療の提供、地域におけるがん診療連携協力、がん患者に対する相談支援および情報提供など、今後とも地域がん診療連携拠点病院としての役割を担いながら、質の高いがん医療が提供できるよう努めています。

安心して子どもを産める環境 地域周産期 母子医療センター

地域周産期母子医療センターに指定されており、新生児病床を有する南予唯一の新生児入院施設として、在胎週数 31 週以上、推定体重 1,500g 以上の早産児・低出生体重児、呼吸障害や感染症、母体合併症を有する新生児などのハイリスク群に対応しています。



地域の命を守る 災害拠点病院



DMAT

DMAT とは「災害急性期に活動できる機動性を持つ、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム」を指し、当院の医師、看護師などで構成されています。

災害対応訓練

大規模災害発生時に行う災害診療時の実施手順等を再確認するために、全職員を対象とした防災訓練を毎年実施しています。また、トリアージ（傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めること）訓練や非常用自家発電機稼働訓練なども実施しており、有事の際には災害拠点病院として求められている役割を果たせるように努めています。

施設認定一覧（一部）

- 地域医療支援病院
- 感染症指定医療機関指定（第二種感染症指定）
- エイズ基幹診療協力病院
- 災害拠点病院（宇和島圏域）指定
- 地域周産期母子医療センター認定
- 肝疾患専門医療機関指定
- 臨床研修病院指定
- 日本医療機能評価機構認定（一般病院2 <3rdG:Ver.1.1>）
- 愛媛県高次脳機能障害相談支援協力機関指定
- 地域がん診療連携拠点病院指定
- 救急病院認定
- 愛媛DMAT指定病院
- 保険医療機関指定
- 腎臓移植施設（日本臓器移植ネットワーク）
- 各種学会からの認定も多数
- 感染症指定医療機関指定（結核指定）
- へき地医療拠点病院指定

